

～八ヶ岳西麓そばをもっと知って、 さらにおいしくお召しあがりください～

八ヶ岳西麓は、そばの栽培に適した地域です。標高1,000m前後の冷涼な気候、長い日照時間と高冷地の強い紫外線、昼夜の寒暖差が大きいことなどから、味わい深いそばの一大産地となっています。そばの豆知識として、実際にどのようにそばが生産されているかをご紹介しますので、八ヶ岳西麓産そばの魅力をさらに感じていただければと思います。



そばは湿度に極めて弱いので、排水対策を行います。やせ地でも育つといわれますが、収穫量を安定させるために施肥をします。また、輪作に組み合わせた栽培が有効とされています。



播種が多すぎると、倒伏してしまいます。揃いが良く生育が良好なら雑草防除の必要はありません。



収穫の適正期は、一番太い主茎の実の黒化状態で判断します。目安として開花最盛期後、積算気温が約500度で、黒化率が約8割となるとされています。

そばができるまで (そば農家)

①土づくりをします

②種まきをします

③芽がでます

④きれいな花が咲きます

⑤実ができます

⑥収穫して乾燥させます



夏に種をまきます。播種の適正期間が短く、10日前後ただけで収穫量が大きく変動してしまいます。



種まき後、約3週間程度で開花します。



黒化率が8割後、約1週間程度で収穫期になります。収穫が遅れると、脱粒が増えて減収し、品質も劣化してしまいます。そばは風味等の品質が要求されますので、常温通風による乾燥が基本です。水分量を約16%に調整します。

私たちが作っています!

茅野市そば生産者協議会



そばの生産者間で協力し合い、大型コンバインで会員のそば畑を協同で刈り取って製粉会社に出荷するなど、そばの安定生産、販路・消費拡大に向けて活動しています。

【コラム】八ヶ岳西麓そば畑サポーター制度

八ヶ岳西麓の茅野市で2017年から始まった取組として「八ヶ岳西麓そば畑サポーター制度」があります。この制度は、農業の担い手の高齢化や後継者不足によって市内から消えつつあるそば畑の景観を後世に残すためのものです。日本全国に住む有志の皆さまに1口1万円の「そば畑サポーター」となっていただき、そば畑の景観を残すために尽力している農家さんを応援し、遊休地の解消を目指して活動を進めています。

一年間、一定区画のそば畑のサポーターとなって、地元農家の皆さんと交流しながら、茅野市の農業を取り巻く環境やそば作りについて学び、茅野市のそば畑の風景を守っていきます。一般的なオーナー制度とは異なり、畑は農家の方の所有のまま、農家さんがそばを育て、収穫したそばも基本的には農家さんのものとなりますが、特典として様々な交流イベントやそば粉のプレゼントなどをご用意しています。

目安として、1口1万円で、遊休地を畑用に新規開拓する場合は50㎡程度、畑として利用している土地において継続して運用する場合は100㎡程度が耕作可能な費用です。集まったサポーターの申込口数に応じて、レスキューできる遊休地が増え、農家さんを応援することができます。お一人で何口でもお申込みいただけます。

例年3月頃～12月にサポーター募集を行っていますので、「八ヶ岳西麓そば畑サポーター制度」にご関心のある方は、以下のお問い合わせ先までご連絡いただければと思います。



「八ヶ岳西麓そば畑サポーター制度」についてのお問い合わせ先

一般社団法人ちの観光まちづくり推進機構「ちの旅案内所」

☎ 0266-73-8550(営業時間9:00～17:00) Mail:ask8@chinotabi.jp

URL <https://navi.chinotabi.jp/>



そばができるまで (そば食事処)

①実をそば粉にします

②そば粉をこねます

③生地を伸ばします

④生地を切ります

⑤茹でて冷やします

⑥お召し上がりください!



製作・お問い合わせ
茅野八ヶ岳そば振興会議
事務局：茅野市産業経済部商工課
☎ 0266-72-2101(内線433)

茅野市そば生産者協議会
事務局：茅野市産業経済部農林課
☎ 0266-72-2101(内線404)

八ヶ岳蕎麦切りの会
事務局：勝山そば店
☎ 0266-82-3556